資料1

岩手県道路交通環境安全推進連絡会議について

令和8年2月

国土交通省

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

目次

0. 当会議への市町村のオブザーバー参加について

1. 岩手県道路交通環境安全推進連絡会議の概要

2. データを活用した交通安全対策の取組

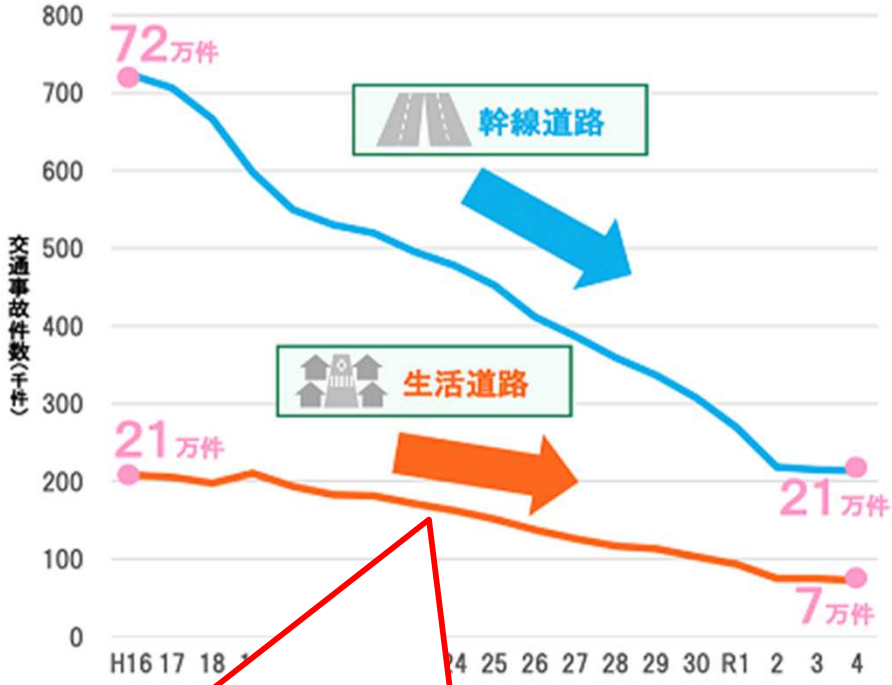
3. 地方公共団体への支援状況

0. 当会議への市町村のオブザーバー参加について

国土交通省

- 幹線道路の事故が大幅に減少している一方、**生活道路での交通事故の事故は横ばい傾向**。
- **生活道路の交通事故の７割が市区町村道で発生**。
- 一方で、市町村としては、**交通事故箇所の把握や事故リスクの評価を踏まえた対策ができていない**。
- これを踏まえ、当会議にオブザーバーとして各市町村の担当者にも参加していただき、**データ活用の有効性の情報提供（周知・啓発）を行う**。

■ 道路種別の交通事故件数の推移



幹線道路の事故が大幅に減少している一方、
生活道路の事故は横ばい傾向
※生活道路の交通事故の７割が市区町村道で発生

■ 政策評価の概要（市町村への調査結果）※1



市町村
担当者

交通事故の発生箇所が把握できていない

事故リスクの評価を踏まえた対策実施箇所・対策内容の選定ができていない

**当会議で生活道路安全対策の取組事例を紹介し、
データ活用の有効性を情報提供（周知・啓発）**

※1出典：生活道路における交通安全対策に関する政策評価【総務省】
（令和7年6月27日 通知先：国家公安委員会（警察庁）、国土交通省）
https://www.soumu.go.jp/main_content/001017710.pdf

1．岩手県道路交通環境安全推進連絡会議の概要

国土交通省

- 岩手県内の道路における交通事故防止を図るため、警察と道路管理者（国・県・NEXCO）とが連携し、道路交通環境整備に係る主要施策を進めている。

【主要施策】

- **事故ゼロプラン及び事故危険箇所における施策**の推進 【幹線道路対策】
- **ゾーン30プラスにおける施策**の推進 【生活道路対策】
- その他、交通事故防止に関わる施策の推進

【構成員】

- 道路管理者（国土交通省・岩手県・東日本高速道路株式会社）
- 交通管理者（岩手県警察本部）
- アドバイザー（大学・民間団体等）

今後、ゾーン30プラス等に代表される生活道路での安全対策を進めていくためには、
国や県、交通管理者だけでなく、各市町村との連携が必要不可欠

今回の安推連では各市町村の担当者にも参加いただき、国からの技術支援、財政支援の状況や、ゾーン30プラスに関する実際の取り組み状況について情報を共有し、県内での横展開を図る

2. データを活用した交通安全対策の取組（交通事故）

国土交通省

- 岩手県警察では、**交通事故発生マップ**で事故発生状況の情報提供を行っている。
- 条件等を選択すれば、**交通事故発生箇所を地図上に簡単に表示**することができる。

■ 条件等選択画面



■ 交通事故発生マップ画面

【凡例】
事故発生箇所：



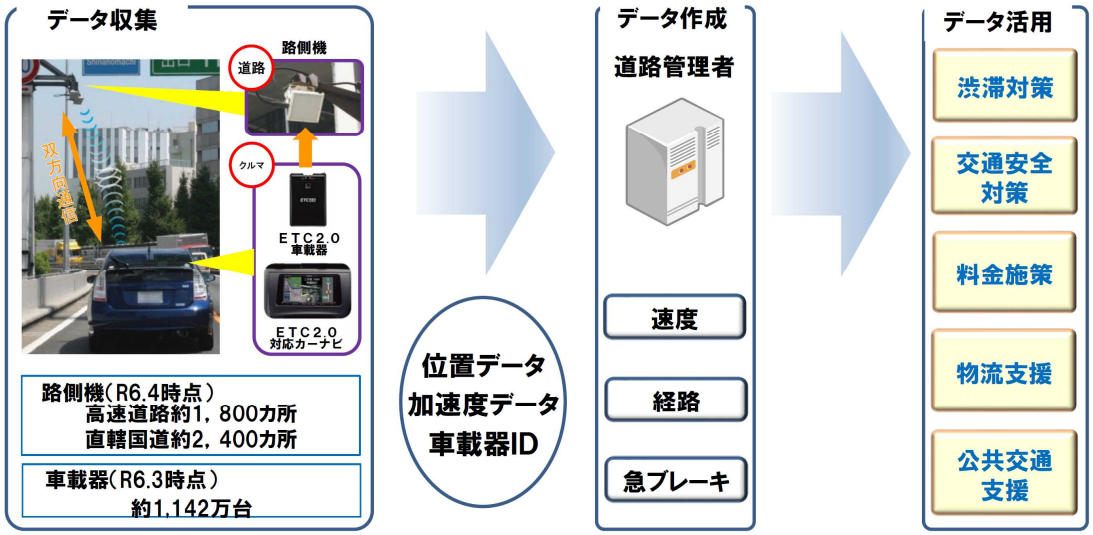
出典：岩手県警察　交通事故発生マップ
https://www.machi-info.jp/machikado/police_pref_iwate/smartphone/map/traffic_icon.jsp

2. データを活用した交通安全対策の取組（ETC2.0）

国土交通省

- **ETC2.0プローブデータ**は、普段はETC2.0車載器（対応カーナビ含む）に蓄積され、車両が路側機の下を通過する際に蓄積されたプローブデータが吸い上げられる。
- プローブデータには**走行履歴データと挙動履歴データが含まれており**、地点速度や急挙動の発生状況等に関するデータを集計することで、**地区内の交通状況を把握可能**。

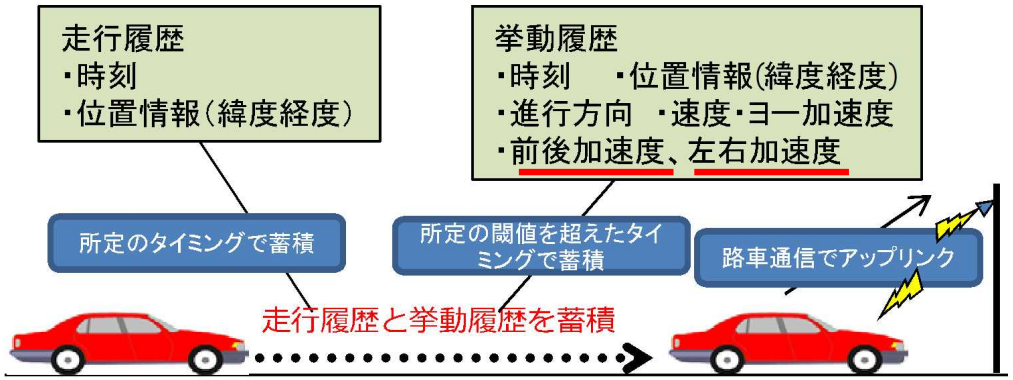
■ ETC2.0の概要



■ ETC2.0で取得可能な情報

走行履歴（経路）、挙動履歴（速度、急減速、急ハンドル）等の情報が得られる。





2. データを活用した交通安全対策の取組（ETC2.0）

国土交通省

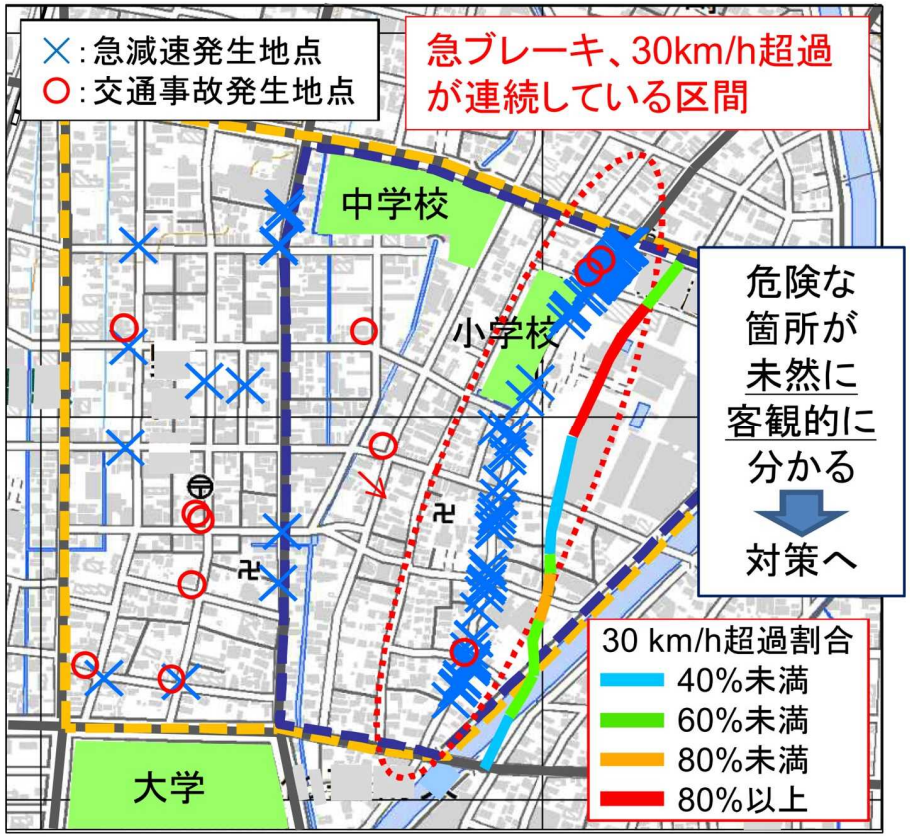
- ETC2.0プローブデータの活用により**潜在的な危険箇所を特定**し、速度抑制や通過交通進入抑制等の**予防的対策が実施可能**。

【これまで】
■ 事故発生箇所に対する
対症療法型対策



使用ﾃﾞｰﾀ）ETC2.0ﾌﾟﾛｰﾌﾞﾃﾞｰﾀ：H27.4～7交通事故ﾃﾞｰﾀ（静岡県警HPより）：H26.1～12

【ビッグデータの活用により】
■ 速度超過、急ブレーキ発生、抜け道等の
潜在的な危険箇所を特定
⇒効果的、効率的な対策の立案、実施が可能



3. 地方公共団体への支援状況

国土交通省

- 具体的な支援メニュー（技術支援・財政支援）を下記に示す。

○技術支援

分析結果の提供

ETC2.0によるビッグデータの活用により

■速度超過、急ブレーキ発生、抜け道等の
潜在的な危険箇所を抽出

⇒効果的、効率的な対策の
立案、実施が可能



可搬型ハンプの貸出し

輸送時の荷姿



2セット
貸出し

設置例（2セット使用時）



技術情報の提供

ハンプ、狭さく等の物理的デバイスの整備に関する技術情報の提供

＜参考資料の例＞

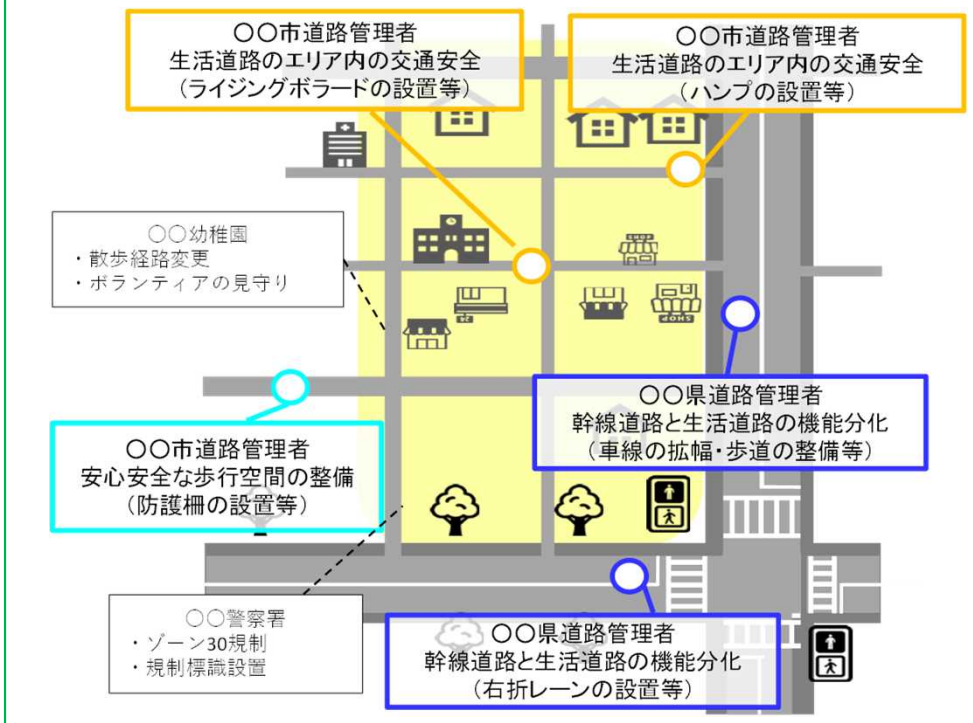
- 「凸部、狭窄部及び屈曲部の設置に関する技術基準」に関する技術資料
- 生活道路におけるハンプ・狭さくの設置事例集2019～設置の工夫と合意形成のポイント～
- ハンプの施工に関する参考資料（案）
- 降積雪地域における物理的デバイスの設置に関する参考資料（案）

▶詳細は国土技術政策総合研究所　道路交通安全研究室　https://www.nilim.go.jp/lab/geg/seikatsu.htm

○財政支援

・交通安全対策補助（地区内連携）

地区内連携（事業のイメージ）









3. 地方公共団体への支援状況（例：ゾーン30プラス）

国土交通省

- データを活用した生活道路の交通安全対策の実施フロー及び各段階での支援メニューを下記に示す。

ゾーン30プラスのフロー

赤字：国での支援箇所

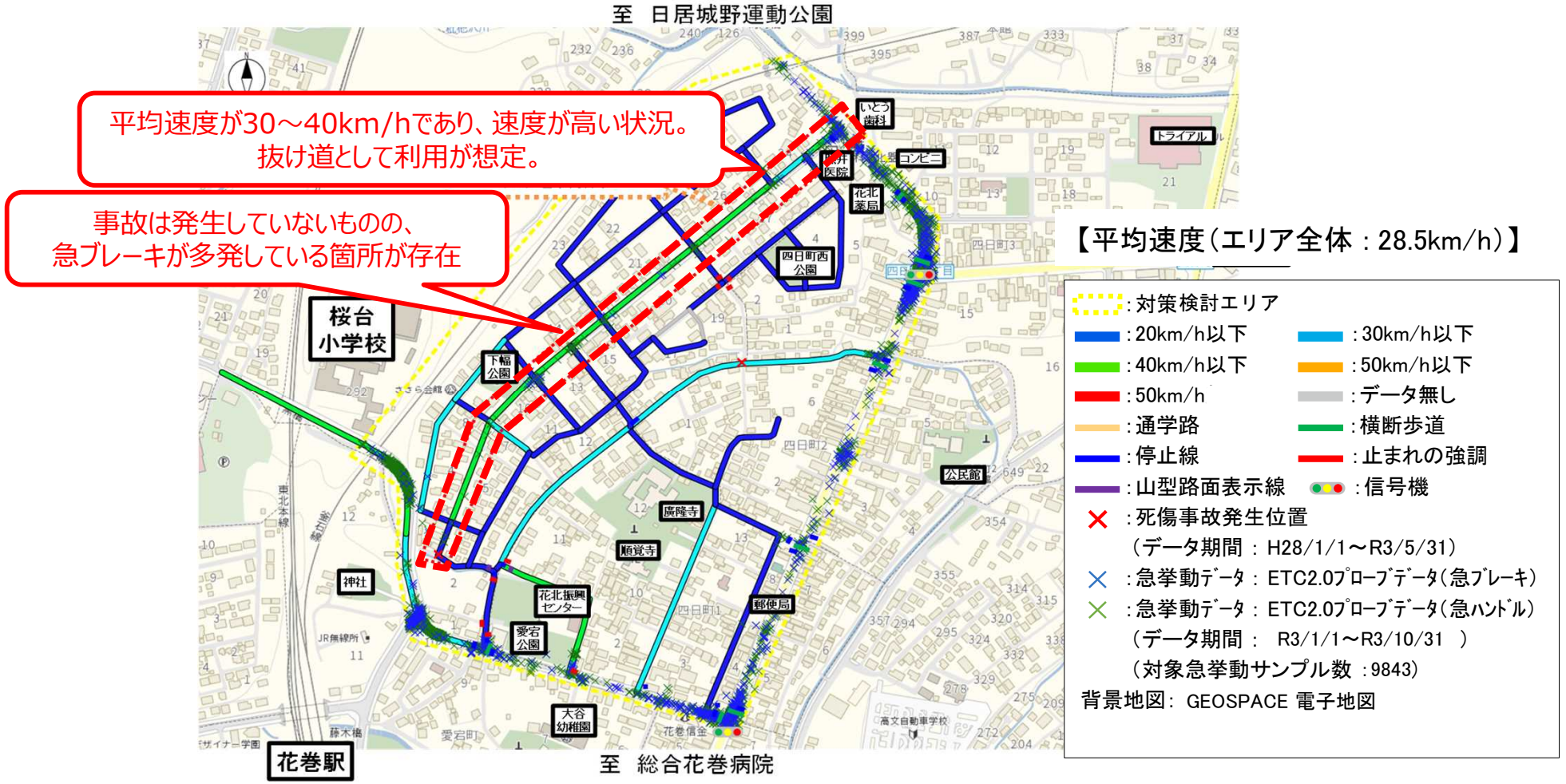
① 各種データの収集・整理	交通事故及び潜在的事故危険箇所の実態を的確に把握するため、事前準備として交通事故データ、**ETC2.0プローブデータ等を収集**し、整理する。
② 地域課題の把握	交通事故データ、**ETC2.0プローブデータ（速度超過、急ブレーキ発生、抜け道経路）**を重ね合わせることによって、危険箇所を抽出する。
③ 危険要因の分析	事故データ、**ETC2.0プローブデータ（速度超過、急ブレーキ発生、抜け道経路）**等を用いて、事故・危険要因を分析する。
④ 対策の検討・決定	危険要因を踏まえ、対策箇所及び対策内容を検討し（データ分析結果に加え、道路状況・周辺環境等も考慮）、決定する。
⑤ 対策の実施	決定した対策箇所及び対策内容で、対策を実施する。実施時には、社会実験に活用可能な**可搬型ハンプの貸し出し**や、**交通安全対策補助（地区内連携）による財政支援**を活用可能。
⑥ 対策の効果検証	交通事故データ、**ETC2.0プローブデータ**等を用いて、対策実施による効果について検証する。

3. 地方公共団体への支援状況（例：ゾーン30プラス（花巻市））

国土交通省

- 花巻市四日町・下幅地区では、令和4年2月にゾーン30プラス整備計画を策定し、令和4年11月に対策を実施した。
- 整備計画の策定時には**ETC2.0プローブデータを活用して、速度超過箇所や急挙動多発箇所を明らかに**し、通学路上の事故リスクが高い箇所を抽出して対策箇所を選定した。

■① 各種データの収集・整理　② 地域課題の把握　③ 危険要因の分析　※ETC2.0活用例（分析）



3. 地方公共団体への支援状況（例：ゾーン30プラス（花巻市））

国土交通省

- データの結果を基に、地元住民（行政区長、交通指導パトロールの会）や学校関係者、国、警察、花巻市を交えた**説明会及び合同現地点検**を行い、地区の課題認識を共有し、対策を検討・決定。

■ ④対策の検討・決定　説明会・合同現地点検の様子



▲交通安全対策事業説明会(R3.7.30)



▲合同現地点検（R3.7.30）



▲合同現地点検（R3.7.30）



▲合同現地点検（R3.7.30）

3. 地方公共団体への支援状況（例：ゾーン30プラス（花巻市））

国土交通省

- 地元との合意形成の元、**狭さく・交差点カラー舗装等の対策を実施**。
- 効果検証ではETC2.0データを活用し、**速度低下や急ブレーキの減少を確認**。地元も効果を実感。

■ ⑤対策の実施



▲狭さく



▲交差点カラー舗装



▲ゾーン30プラス路面標示



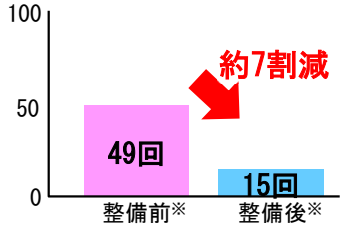
▲路側帯カラー化

■ ⑥対策の効果検証

①車両走行速度調査　（ETC2.0データによる）

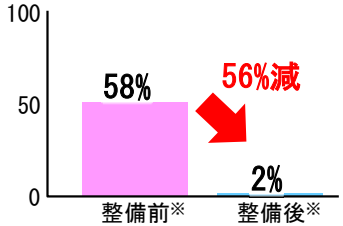
	平均速度	30km/h超過割合
整備前	26.5km／h	64%
	▼3.6km／h減	▼32%減
整備後	22.9km／h	32%

②急ブレーキ発生回数



※整備前：H26.4.1～ H31.3.31の急ブレーキ発生回数
整備後：R5.4.1～ R5.7.31の急ブレーキ発生回数
（ETC2.0データによる）

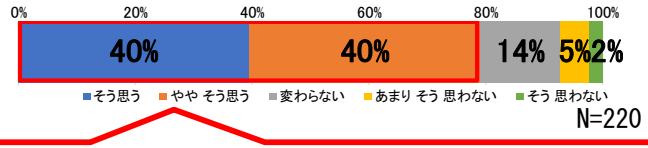
③通過交通



※整備前：H26.4.1～ H31.3.31の通過交通の割合
整備後：R5.4.1～ R5.7.31の通過交通の割合
（ETC2.0データによる）

④アンケート調査（桜台小学校の児童・保護者対象）

地区全体の安全感・安心感が向上したと思うか



桜台小学校の児童・保護者の約8割が効果を実感

3. 地方公共団体への支援状況（ETC2.0）

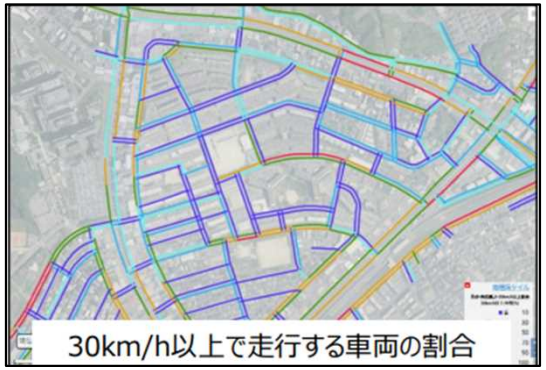
国土交通省

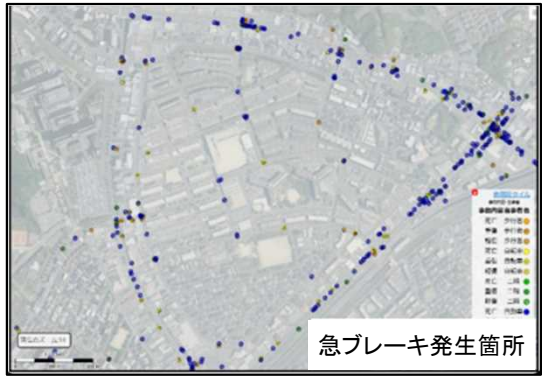
- ETC2.0プローブデータは潜在的な危険箇所（速度超過箇所、急ブレーキ多発箇所等）の把握や、効率的・効果的な対策の立案、効果検証に有効。
- ETC2.0プローブデータの分析結果は、**国土交通省から各道路管理者へ提供可能**（ゾーン30プラスの検討に加え、**局所箇所の対策検討でも提供可能**）。
- 詳しくは、国道事務所等に問い合わせください。

国土交通省

［ETC2.0プローブデータの分析］

■速度超過、急ブレーキ発生、抜け道等の**潜在的な危険箇所を抽出**





分析結果を提供

地方公共団体

［対策の立案のイメージ］



ハンプ



狭さく

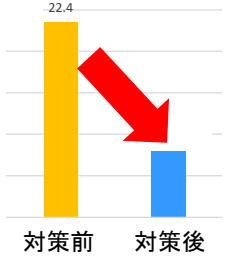


防護柵

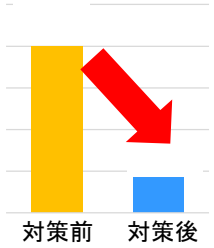


車線の拡幅・歩道の整備

［効果の検証のイメージ］



平均速度（km/h）



急ブレーキ発生件数（0.5G以上）

3. 地方公共団体への支援状況（例：可搬型ハンプ貸出（滝沢市））

国土交通省

- 岩手県内では、令和3年度に**試行的な実証実験**として、滝沢市内で**スムーズ横断歩道（ハンプ＋横断歩道）の仮設を行った事例**がある。

【概要】

［設置地区］

岩手県滝沢市室小路（滝沢中央小学校周辺）

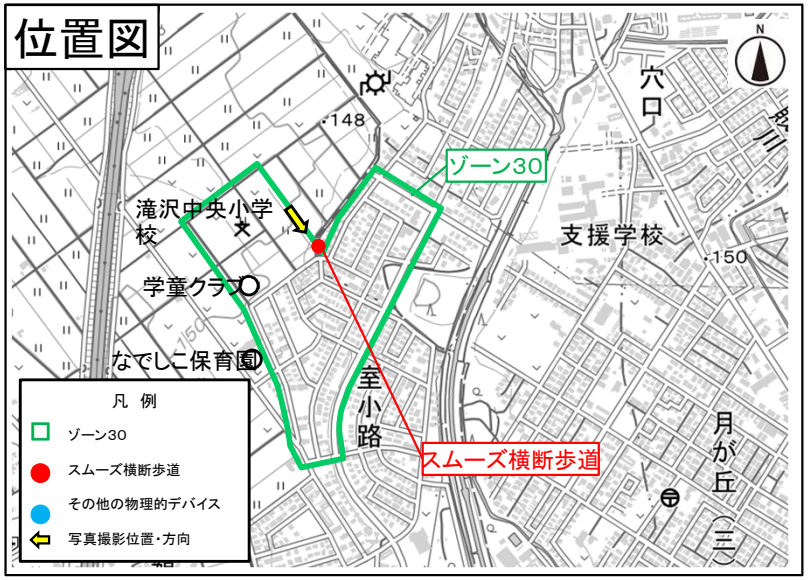
［設置期間］

令和3年9月9日～令和3年11月11日 （仮設）

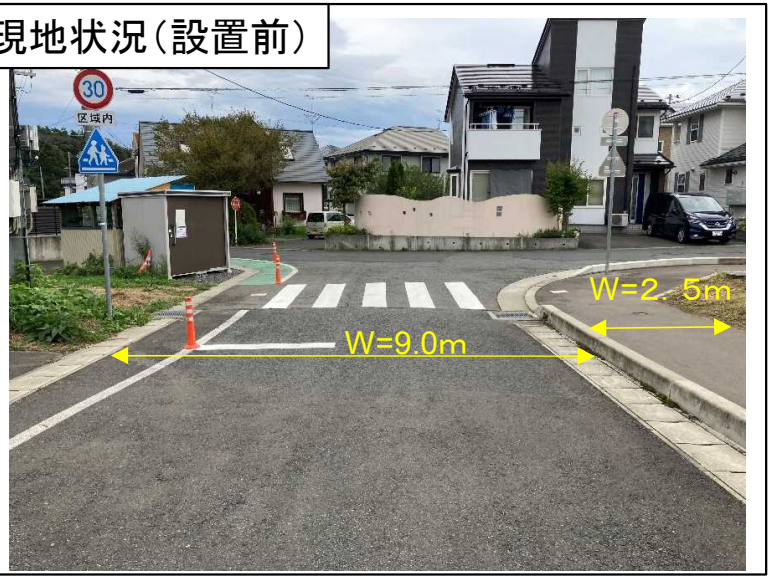
［問合せ先］

滝沢市役所　都市整備部道路課（TEL：019-656-6549）

位置図



現地状況（設置前）



現地状況（設置後）



3. 地方公共団体への支援状況（問い合わせ先）

国土交通省

- ETC2.0プローブデータの提供、ハンプ貸出等に関する問い合わせ先は以下のとおり。
- 市町村ごとに、問い合わせ先の国道事務所が異なります。



岩手河川国道事務所
交通対策課
TEL:019-624-3291

- 盛岡市
- 花巻市
- 北上市
- 一関市
- 二戸市
- 八幡平市
- 奥州市
- 滝沢市
- 雫石町
- 葛巻町
- 岩手町
- 紫波町
- 矢巾町
- 西和賀町
- 金ケ崎町
- 平泉町
- 軽米町
- 九戸村
- 一戸町

三陸国道事務所
交通対策課
TEL:0193-71-1718

- 山田町
- 宮古市
- 岩泉町
- 田野畑村
- 普代村
- 野田村
- 久慈市
- 洋野町

南三陸沿岸国道事務所
工務課
TEL:0193-29-1626

- 大船渡市
- 遠野市
- 陸前高田市
- 釜石市
- 住田町
- 大槌町

【参考】生活道路の交通安全対策に関するポータルサイト

国土交通省

- 国土交通省HPにある「生活道路の交通安全対策に関するポータルサイト」にて、生活道路の交通安全対策に役立つ情報を掲載。

生活道路の交通安全ポータル

URL https://www.mlit.go.jp/road/road/traffic/sesaku/anzen.html

- ゾーン30プラスの取組状況（ゾーン30プラスの取組事例を紹介）
  URL https://www.mlit.go.jp/road/road/traffic/sesaku/syokai-jirei.html
- 生活道路対策事例（市区町村における対策や効果検証事例を紹介）
  URL https://www.mlit.go.jp/road/road/traffic/sesaku/syokai-torikumi.html
- 関係資料（技術資料、ガイドライン、事例集を紹介）
  URL https://www.mlit.go.jp/road/road/traffic/sesaku/shiryo.html
- ゾーン30プラス実務者向けシリーズセミナー（セミナー資料を閲覧可能）
  URL https://www.mlit.go.jp/road/road/traffic/sesaku/koho-zone30-seminar2024.html

【参考】生活道路の交通安全対策に関するポータルサイト

国土交通省

- 国土交通省HPにある「生活道路の交通安全対策に関するポータルサイト」の「関係資料」にて、国土交通省国土技術政策総合研究所で作成した技術資料等へのリンクを掲載。

関係資料（技術資料、ガイドライン、事例集を紹介）
URL https://www.mlit.go.jp/road/road/traffic/sesaku/shiryo.html

- 「凸部、狭窄部及び屈曲部の設置に関する技術基準」に関する技術資料
  URL https://www.nilim.go.jp/lab/bcg/siryou/tnn/tnn0952.htm
- 生活道路への物理的デバイス設置における合意形成のための参考資料
  URL https://www.nilim.go.jp/lab/bcg/siryou/tnn/tnn1310.htm
- ハンプの施工に関する参考資料（案）
  URL https://www.nilim.go.jp/lab/geg/files/R5humpsekoushiryou.pdf
- 生活道路におけるハンプ・狭さくの設置事例集
  URL https://www.nilim.go.jp/lab/bcg/siryou/tnn/tnn1268.htm
- 凸部（ハンプ）の概要、走行動画
  URL https://www.nilim.go.jp/lab/geg/hump/hump.html

【参考】交通安全対策への活用が考えられるデータ

国土交通省

- 他、交通安全対策への活用が考えられるデータは以下のとおり。

データの種類	データ名称	データの入手先	公開先
事故発生データ	交通事故統計情報	警察庁	警察庁HP https://www.npa.go.jp/publications/statistics/koutsuu/opendata/index_opendata.html
	交通事故発生マップ	各都道府県警察	各都道府県警HP（岩手県警察） https://www.machi-info.jp/machikado/police_pref_iwate/smartphone/map/traffic_icon.jsp
		警察省・国土交通省	オープンデータを用いた交通事故発生箇所の地図化マニュアル https://www.mlit.go.jp/road/road/traffic/sesaku/pdf/chizuka_manual.pdf
プローブデータ	民間プローブデータ	自動車メーカ等	Honda Drive Data Service https://www.honda.co.jp/HDDS/
ヒヤリハット情報	ヒヤリハット情報	地方公共団体等	しながわMAP（東京都品川区） https://www2.wagmap.jp/shinagawa/Portal

【参考】第１回安推連審議内容及び第2回安推連議題

国土交通省

- その他、令和7年度安推連での審議、情報共有内容は下記の通り。

	項目	令和７年度　第1回安推連　審議内容	令和７年度　第2回安推連　審議議題
①	ゾーン３０プラス	➢ 整備計画策定予定箇所の報告 ➢ 対策の完了（予定）箇所の報告 ➢ 対策の効果検証手法の審議	➢ 自治体へのデータ活用の有効性の周知・啓発 ➢ 整備計画（案）の報告 ➢ 対策完了及び、効果検証の結果報告
②-1	事故ゼロプラン	➢ 第３期事故ゼロプランの進捗状況の報告 ➢ 今年度の効果検証予定箇所及び効果検証方針の報告	➢ 今年度の対策結果の報告 ➢ 整備効果（速報）の報告
②-2	事故危険箇所	➢ 事故危険箇所の対策進捗状況の報告 ➢ 効果検証方針の審議	➢ 対策実施箇所効果検証の結果についての報告
③-1	路面標示の効率的・効果的な維持管理	➢ 路面標示維持管理に関する課題、 ➢ 連絡調整体制構築の報告	➢ 令和８年度に向けた方針の報告
③-2	高速道路等での逆走対策	➢ 逆走対策に関する現状の報告	➢ 逆走対策に関する経過状況などの報告
③-3	通学路での安全対策	➢ 通学路の安全対策の現状報告	➢ 取組状況の報告
③-4	道路交通法施行令の一部改正に関する情報共有	－	➢ 情報提供
③-5	自転車交通反則通告制度開始に関する情報共有	－	➢ 情報提供
③-６	交差点名称の変更	－	➢ 変更箇所の報告